

高断熱化の追い風に加え、安定供給体制を強みに他社からの切り替え需要を獲得。会社計画を上回る好決算となる。

サマリー

■ 現場発泡ウレタン断熱施工国内トップシェアの高成長企業

日本アクア（以下「同社」という）は、「人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献」という経営理念のもと、断熱・防水技術を通じてエネルギー効率の向上と持続可能な社会の実現に貢献する事業を展開している東証プライム市場に上場する企業である。現場発泡ウレタン断熱施工においては国内トップシェアを有しており、戸建部門、建築物部門、防水部門を3本の柱として事業を展開。2013年の上場以来、決算は連続増収を記録中の高成長企業である。

■ 2026/12期Q2 決算概要

2026/12期Q2累計の売上高は16,972百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は1,179百万円（同8.0%増）となり、増収増益を確保した。売上総利益率が22.6%と前年同期から0.8ポイント改善したことで、販管費の増加を吸収した。経常利益は1,150百万円（同4.4%増）、中間純利益は755百万円（同1.1%増）となった。主力の戸建部門は、高断熱・高气密提案の強化を背景に広域展開ビルダーや大手ビルダーからの受注が伸長したほか、他社施工業者や他資材からの切り替え需要も取り込み、売上高は8,125百万円（同7.6%増）と前年同期、計画ともに上回った。建築物部門は大型案件の本格化を下期以降に控えるなか、データセンターや商業施設、高層マンション等の案件を着実に施工し、売上高は4,542百万円（同5.7%減）と前年同期を下回ったものの、会社計画を上回った。防水部門は着工時期のずれなどから563百万円（同10.0%減）となった一方、国家的重要施設の受注を契機に引き合いが増加しており、通期計画に対しては概ね順調に推移している。

2026/12期通期業績予想

2026/12期通期会社計画は、売上高37,000百万円（前期比9.9%増）、営業利益2,900百万円（同4.5%増）、経常利益2,910百万円（同4.1%増）、当期純利益1,972百万円（同4.1%増）を据え置いている。

今後も省エネ基準強化を背景とした高断熱需要の拡大が追い風となる見通しである。加えて、データセンターやコールドチェーン向け需要拡大も中長期的な成長要因となる見込みだ。また、依然としてウレタン原料の供給不安が高止まりする中、同社は国内最大の調達力を活かした安定供給体制を維持しており、競争優位性の向上が期待される。SIRでは今後取材後にフォローアップレポートを発行する予定である。

| 百万円、%、円      | 売上高    | YoY   | 営業利益  | YoY    | 経常利益  | YoY    | 当期利益  | YoY   | EPS   | DPS   |
|--------------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 2023/12期     | 28,342 | 10.4% | 2,882 | 23.7%  | 2,917 | 23.6%  | 2,004 | 29.4% | 63.83 | 32.00 |
| 2024/12期     | 30,265 | 6.8%  | 2,575 | -10.6% | 2,604 | -10.7% | 1,839 | -8.2% | 58.55 | 34.00 |
| 2025/12期     | 33,670 | 11.3% | 2,774 | 7.7%   | 2,794 | 7.3%   | 1,895 | 3.1%  | 59.42 | 35.00 |
| 2026/12期（会予） | 37,000 | 9.9%  | 2,900 | 4.5%   | 2,910 | 4.1%   | 1,972 | 4.1%  | 61.84 | 35.00 |
| 2025/12期Q2   | 15,983 | 21.9% | 1,091 | 28.5%  | 1,102 | 26.8%  | 748   | 29.0% | 23.44 | -     |
| 2026/12期Q2   | 16,972 | 6.2%  | 1,179 | 8.0%   | 1,150 | 4.4%   | 755   | 1.1%  | 23.48 | -     |

出所：決算発表資料よりSIR作成

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

Q2 Flash



客員アナリスト 中西哲  
[research@sessapartners.co.jp](mailto:research@sessapartners.co.jp)



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧ください。

## ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



**SESSAパートナーズ株式会社**

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a  
[info@sessapartners.co.jp](mailto:info@sessapartners.co.jp)